

再配置案(たたき台)

市の児童館配置方針は「公共施設の種類ごとの配置方針」で次のとおり示しています。

「今後の施設・設備の補修等は必要最小限とし、将来的には、学校をはじめとする地域の既存施設への機能移転を進める」

また、前回ワークショップの意見から、早通地域における公共施設再編の基本的な考え方を次のとおり整理しました。

「子どもの居場所・遊び場」機能を確保しながらも、多様な世代が様々な目的をもって集い、交流することができる多機能拠点を整備していく」

上記、市の配置方針及び前回ワークショップ意見をまとめた考え方から、施設の大規模な改修が必要となる児童センターは廃止するが、「子どもの居場所・遊び場」機能は他の公共施設に確保していくこととする再配置案を提示します。

■再配置案の見方

再配置案の先頭に「現状」として、現存施設をいずれも大規模改修し維持管理する場合を示しています。

I～IIIの再配置案と現状を比べ、評価軸(案)からどのように「良くなっているか」または「悪くなっているか」を考えながらご覧いただき、後のグループでの話し合いの議題でもある「足りない評価軸」や「足りない再配置案」を検討いただきますようお願いいたします。

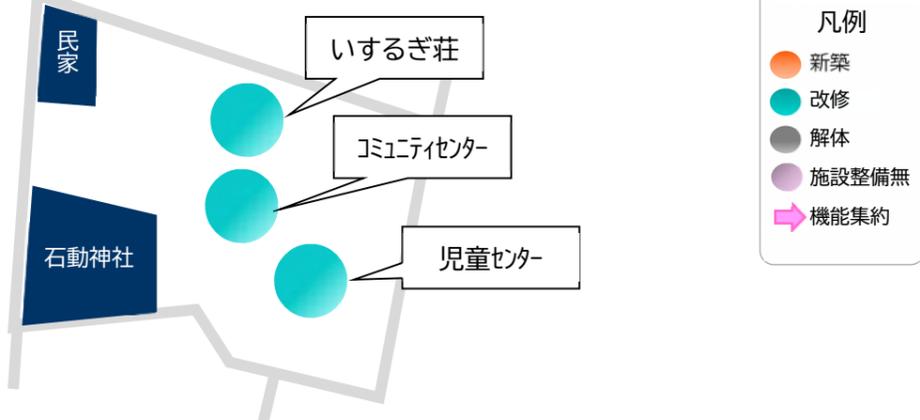
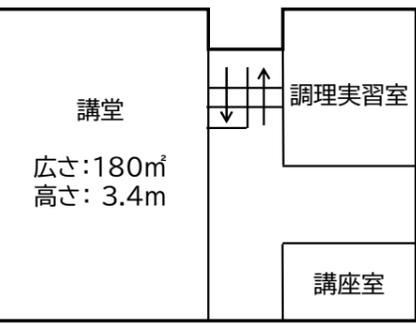
<< 大規模改修とは >>

市が公共施設の目標使用年数と定める80年目まで活用できるよう、鉄骨や基礎等の構造をそのままに、屋根・壁などの外装及び、内壁や天井等の内装を新しくする改修工事を言います。

※若干の間取り変更も可能。

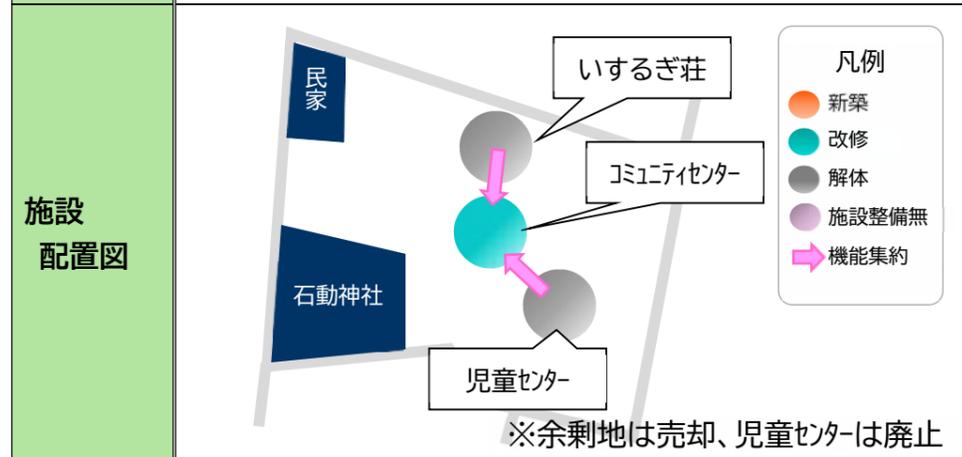
<参考 大規模改修イメージ>

主な内容	大規模改修前	大規模改修後
<トイレ改修> ・和式→洋式 ・乳幼児の座椅子を整備 ・ウォシュレット整備 等		
<部屋改修> ・一般的な会議室→多目的室 ・フローリング敷きに改修 ・水洗場の整備 等		

再配置案	現状	
	再配置案	コミュニティセンター、児童センターともに現状維持した場合
施設配置図		
コスト	今後30年コスト: 14.7 億円	
延床面積	1,365.62 m² (コミセン棟: 797.24 m ² 、いするぎ荘: 231.5 m ² 、児童センター: 336.88 m ²)	
各施設平面図	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>【コミセン 1F】</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>【児童センター】</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>【コミセン 2F】</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>【いするぎ荘】</p>  </div> </div>	

I 案

再配置案
 コミセン棟 1 棟を大規模改修し、子どもの居場所・遊び場機能を持った多機能コミセンに再編する案

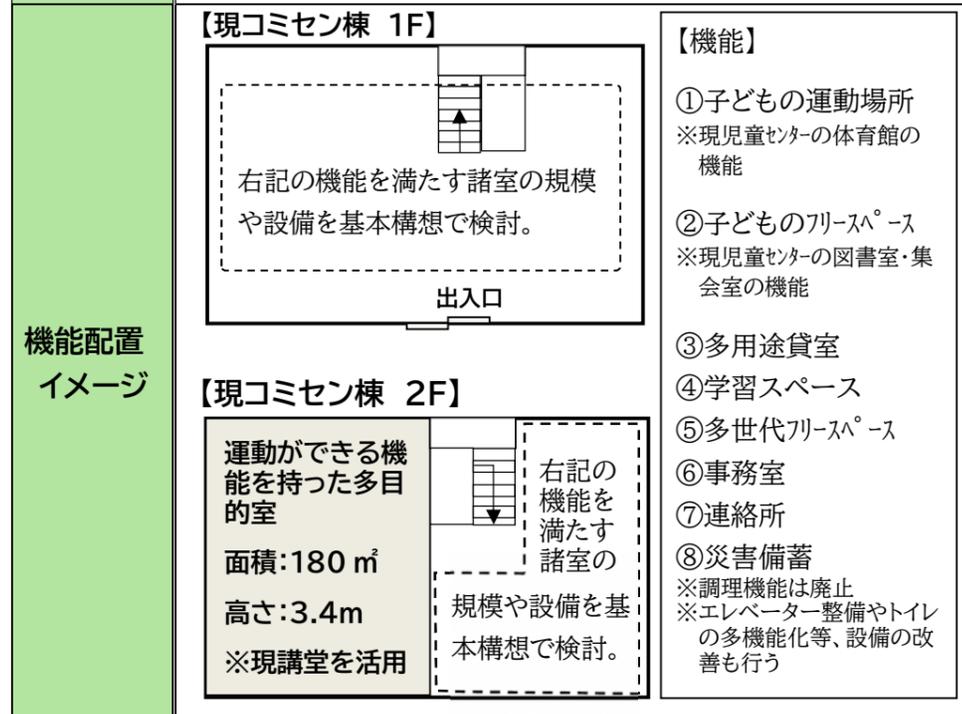


特徴

- ・延床面積が再配置案の中で最大。
- ・大規模改修であることからレイアウトに制約がある。
- ・コミセンに子どもの居場所・遊び場機能が集約されるので多世代交流事業を展開しやすい。

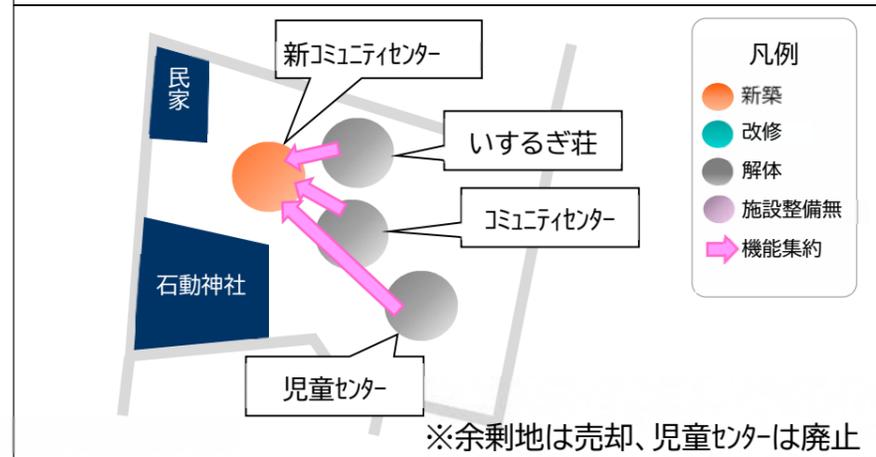
コスト
 今後30年コスト：**10.9 億円**
 今後30年における効果額(現状との差額)：**3.8 億円**

延床面積
797.24 m²(既存のコミセン棟の大きさ)
 ※現在のコミセン貸室の利用状況より判断



II 案

再配置案
 平屋 1 棟を新築し、子どもの居場所・遊び場機能を持った多機能コミセンに再編する案

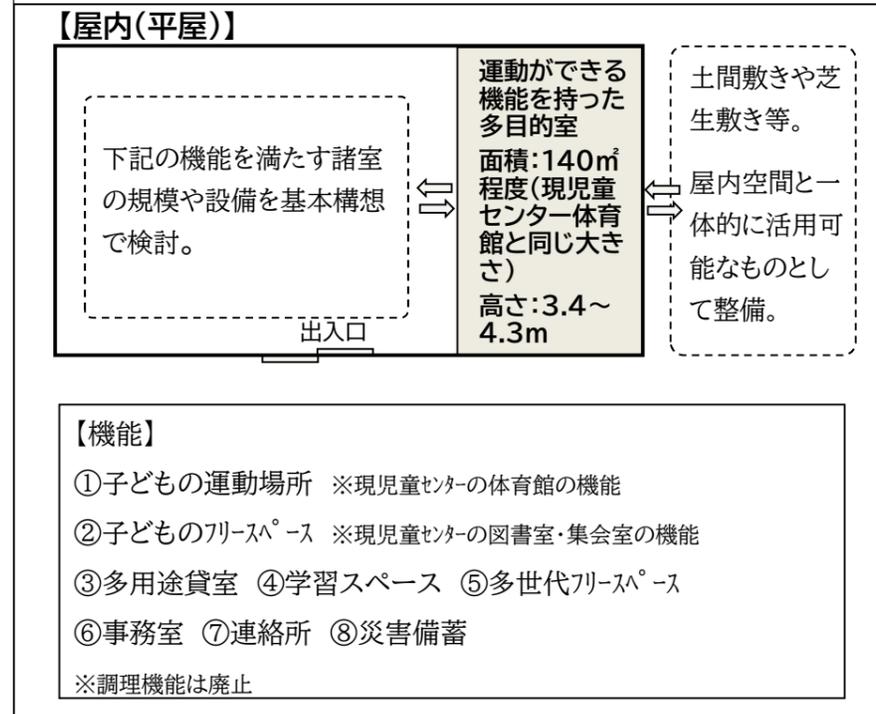


特徴

- ・コストが再配置案の中で最も高くなることが想定される。
- ・新築であることからレイアウトの自由度が高く、一体感のある空間づくりが可能。
- ・コミセンに子どもの居場所・遊び場機能が集約されるので多世代交流事業を展開しやすい。

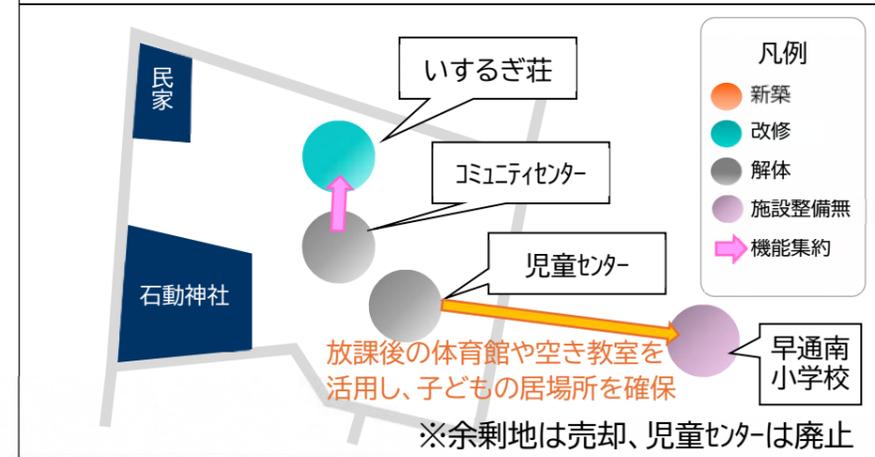
コスト
 今後30年コスト：**11.2 億円**
 今後30年における効果額(現状との差額)：**3.5 億円**

延床面積
500~700 m²程度
 ※現在のコミセン貸室の利用状況より判断



III 案

再配置案
 いするぎ荘 1 棟を増築含む大規模改修し、コミセンとするとともに、子どもの居場所・遊び場機能は早通南小学校に移転する案



特徴

- ・コストが再配置案の中で最小になると想定される。
- ・延床面積が再配置案の中で最小。
- ・I 案と同じくレイアウトに制約がある。
- ・コミセンに子どもの居場所・遊び場機能が集約されないため多世代交流事業の実施に工夫が必要。

コスト
 今後30年コスト：**7.2 億円**
 今後30年における効果額(現状との差額)：**7.4 億円**

延床面積
231.5(既存のいするぎ荘の大きさ)~400 m²程度
 ※現在のコミセン貸室の利用状況より判断

